

令和 8 年度 伴学区エルモ 地域運営委員会事業計画書

1 今年度の目標

・ 地域課題の 9 事業を確実に進めていく。
・ 電子回覧板（CocBan）の活用及びデジタルサイネージを地域内に推奨していく。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	あいさつ運動（夏休みラジオ体操）	（9）事業中（1）事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域の子ども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 7 月 1 日 ～ 令和 8 年 8 月 3 1 日	
(2) 実施場所	伴学区各ラジオ体操会場（伴学区内 15 町内会 34 会場）	
(3) 参加者数	1 0 0 0 人（見込み）	
(4) 主催団体	伴学区老人クラブ連合会	
4 取組内容	平成 23 年から伴学区社会福祉協議会がすすめている「あいさつ運動（夏休みラジオ体操）」に賛同し、伴学区老人クラブ連合会として、参加した子どもたちに参加賞を提供する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 知らない人に声を掛けられない風潮の中、コロナ禍でイベント中止が相次いだ結果、住民同士の関係ができておらず、コミュニケーションがとりにくくなっている。こうした中、あいさつ運動を通じ、住民同士が顔見知りとなり、笑顔で挨拶できるコミュニケーションのとりやすい地域にしたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子どもと大人（特に高齢者）が毎朝ラジオ体操会場で挨拶することにより、つながりが出来、さわやかな 1 日が過ごせるとともに、住民同士が顔見知りになることで、コミュニケーションのとりやすい地域となり、コミュニティの活性化につながる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	野菜づくりカフェ等	(9)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	伴地域の農地・山林、JA 広島市伴支店	
(3) 参加者数	野菜づくりカフェ等延255人（見込み）	
(4) 主催団体	アグリ アシストとも	
4 取組内容	(1) 野菜づくりカフェ（JA 広島市伴支店） 座学の基礎講座を5回開催する。 (2) 野菜づくり実践体験・見学会（農園） 実践4回、見学会1回を開催し、土づくり、栽培、草刈等農園管理を行う。なお、野菜づくりカフェ登録者のうち畑での実践希望者で実施する。 (3) 野菜づくり希望者の受入れにつなぐ農地の整備・相談窓口の設置 耕作放棄地や遊休地の有効利用につながる環境整備・情報収集を行う。 協力:JA 広島市伴支店 ※LMO 構成団体との連携も模索する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ① 伴や近隣地域において、農業従事者等の高齢化・後継者不足により、管理が行き届かない農地、山林が増加している。不法投棄や害獣被害等を誘発する恐れ、景観の維持が困難など、農家だけでなく地域全体の課題になっている。農地を地域資源として十分活用できていない状況もある。 ② 農のあるライフスタイルが実現できる郊外住宅地域として、その魅力を伝え、ともに楽しみながら、農地を活かし守る仲間づくり、伴に住み続けたいと思える地域をつくることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 地域資源を活用した住民同士の交流機会となる。 ② 豊かな地域資源を知るきっかけとし、地域活動の新たな担い手や地域の魅力づくりにつながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	協力団体サポート事業	(9)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区（伴学区エルモ事務所）	
(3) 参加者数	30人（見込み）	
(4) 主催団体	伴学区エルモ	
4 取組内容	伴小学校区における各協力団体に対し、下記のサポートを行う。 1 資料作成サポート 2 ラミネートサポート 3 テブラサポート 4 資料電子化サポート 5 物品貸し出しサポート 6 資料等保管サポート 7 ホームページ更新サポート	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 各協力団体の役員は複数の団体の役員を兼ねている場合もあり、事務負担が大きく、役員の担い手不足の要因にもなっている。このため、各団体運営における負担を軽減するため、特に事務作業や特殊な機器・スキルを必要とする作業についてエルモが代行作業を行うことにより、団体役員の負荷軽減を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 各協力団体の目的に合った活動に集中することにより、活動の効果をより大きく発揮することができる。また、事務作業の負担が減少することにより役員の負担が減り、担い手不足の解消につながることを期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	広報活動	(9)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区	
(3) 参加者数	5,000人(見込み)	
(4) 主催団体	伴学区エルモ	
4 取組内容	伴学区に居住する方に対し、エルモが行っている事業内容や学区内で行われているイベント等の情報を発信する。 具体的には下記を行う。 1 LINE 公式アカウント、Instagram、電子回覧板 (CocBan) を活用した情報の発信 2 デジタルサイネージによる情報の発信 3 広報誌の発行による情報の発信 4 地元イベントでのブース出展	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 現在、主に紙媒体によりイベント等の周知を行っているところであるが、様々な世代に広報を行うには課題がある。更なる周知を図っていくため、SNS やデジタルサイネージなどを活用し、学区内で行われるイベント情報及び伴学区エルモや各協力団体の活動内容を発信する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 情報発信を拡大することにより、イベントに参加する人が増え、地域活性化につながる。また、各団体の活動内容を知ってもらうことにより地域コミュニティに興味・関心をもってもらい、組織運営に必要な人材不足の解消、地域ボランティアの充足、住民のつながりの向上が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	子どもの安心・安全を守る事業	(9)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区内の公園（1箇所）	
(3) 参加者数	（公園を利用する児童数） 500人 ※伴小学校児童数から想定	
(4) 主催団体	伴学区エルモ	
4 取組内容	子どもたちが安心してかつ安全に遊べる公園にするために、公園に時計を設置する。 なお、購入する前に、安佐南区役所（建設部維持管理課管財係）にどんな時計を設置するのか申請し、許可を得た上で設置する。令和6年度と令和7年度にそれぞれ1箇所ずつ設置済みであり、今年度は別の公園に設置するものである。 また、設置場所は、トイレの壁などを想定している。設置後は、チラシでの広報や地域の見守り活動等を通じて周知を図り、子どもだけでなく大人へも意識付けを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 現状として、時計がない公園では時間の確認ができないため、遅くまで遊んでいる子どもの姿が見られ、時計を持っていない子どもは近所の人に時間を確認している状況であり、防犯上の観点からも対応が必要である。安心して安全に遊べる公園にするために、公園に時計を設置し、帰宅時間を順守させることにより子どもの健全育成にもつなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 時計を設置することにより、子どもたちに家族と約束した時間に帰るよう意識させることができるなど、時間と防犯への意識を養うことができ、安心・安全なコミュニティの醸成につながることが期待できる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	介護予防運動教室	(9)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	沼田老人いこいの家	
(3) 参加者数	720人(見込み)	
(4) 主催団体	伴学区社会福祉協議会	
4 取組内容	毎月第二第四金曜日午前10時～11時過ぎまで毎回専任の講師を招聘し、地域の高齢者を対象に、健康寿命を延ばし、なお且つ認知症にもならず、介護を必要としない生活が送れることを目的とする。具体的には椅子やタオル、ボールなどを使用して様々な運動に取り組む。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 第一次ベビーブームの皆さんが後期高齢者の75歳以上となり、要介護者の人口が大幅に増加することが見込まれることから、少しでも介護を必要としない人を増やすことを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 広島県は全国的にも健康寿命が短いと言われているが、この介護予防運動を継続することにより少しでも健康寿命を延ばすことが期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	伴学区防災町民運動会	(9)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和8年12月31日	
(2) 実施場所	伴小学校上グラウンド	
(3) 参加者数	800人(見込み)	
(4) 主催団体	伴学区町内会連合会	
4 取組内容	伴学区防災町民運動会を令和8年4月19日に実施する。 ・実行委員会を3回実施予定。(2月、3月、4月) ・内容：火事だ逃げよう、防災借り物競走 など ・協力：広島市安佐南区役所、広島市安佐南消防署、広島市立沼田高校吹奏楽部、日比野病院	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ① 新型コロナウイルス流行以後、地域住民同士の交流機会が少なくなり、つながりが薄くなっている。 ② 近年、自然災害が多発しており、日ごろから災害に備えることが必要。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 地域住民の多世代の交流を図ることで、地域住民同士のつながりづくりにつながる。 ② イベントの中に防災に関わる競技を取り入れることで、楽しみながら地域住民の防災意識の醸成を図る。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	親子三代ソフトバレーボール大会支援	(9)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月	
(2) 実施場所	安佐南区スポーツセンター	
(3) 参加者数	40人(見込み)	
(4) 主催団体	伴学区エルモ(協力:伴地区スポーツクラブ)	
4 取組内容	子ども会がなくなり、また町内会へ加入していない世帯も増えたことにより、子どもチームの参加者を集めるのに大変苦勞していることから、スポーツと飲食を通じて、多世代交流を促進する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 子どもチームの参加者を増やしたい。ソフトバレーをチームで競技することにより、子ども同士のふれあいの時間を作りたい。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 子どもチームの参加者が増えることにより、この大会は、地域の大人も参加するで、地域の方の応援もあり、地域活性化につながることを期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	救急医療情報キット配布事業	(9)事業中(9)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	伴小学校区	
(3) 参加者数	1, 500人(見込み) ※令和7年6月末現在の後期高齢者人口を基に想定	
(4) 主催団体	伴学区社会福祉協議会	
4 取組内容	「救急医療情報キット」とは、主に一人暮らしの高齢者等が、自宅で救急車を要請した際に必要となる「本人情報」「緊急連絡先」「かかりつけ医療機関」「疾病歴」「服薬内容」等が記載された用紙を専用の容器に入れて、自宅の冷蔵庫内に保管しておく物である。これを作成し、伴学区内で広報して高齢者に限らず希望者に広く無料で配布する。学区近隣の消防署とも連携を図りながら活動の定着に努める。在庫は伴学区エルモ及び伴学区社会福祉協議会の事務所で保管することとする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 学区住民の高齢化が進み、単身高齢者も増加する中、万が一の急病や事故により本人による意思疎通が難しくなった場合の孤立を多少なりとも解消する手段として考案したものである。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 救急隊員を含む緊急対応者が本人救助に必要な情報を速やかに得られることにより、円滑な救助活動を行えることにつながるとともに、主に単身高齢者の安全・安心な生活を守る一助となることが期待できる。	